

REX

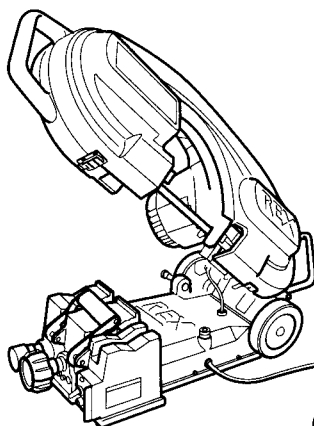
バンドソー切断機

50/60Hz

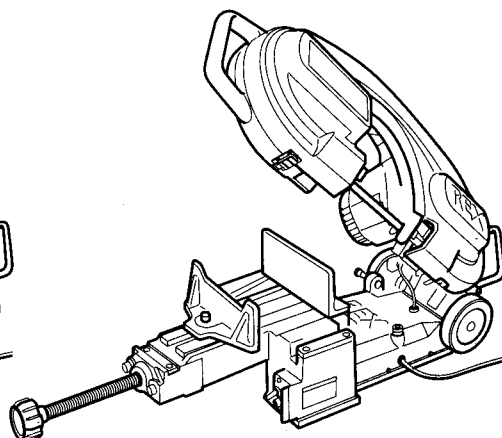
MANTIS
マンティス125・120A

XB125・XB120A

共通取扱説明書



XB125
(チェーンバース)



XB120A
(平バース)



**ご使用前に必ず
お読みください**

—お願い—

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになってください。
- なお、この取扱説明書は、お使いになる方が必要なときにいつでも見られるところに大切に保管してください。

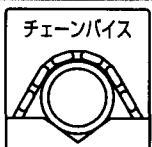
購入年月： 年 月

お買上げ店名：

このたびはREXバンドソー マンティスシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は、XB125（チェーンバイス）とXB120A（平バイス）の両機種共通となっております。各作業手順は機種により分かれている項目がありますので下記の図を参考にいただき、お買い上げいただいた機種に応じてお読みください。

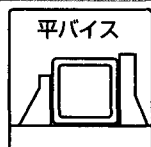
XB125（チェーンバイス）



XB125の場合

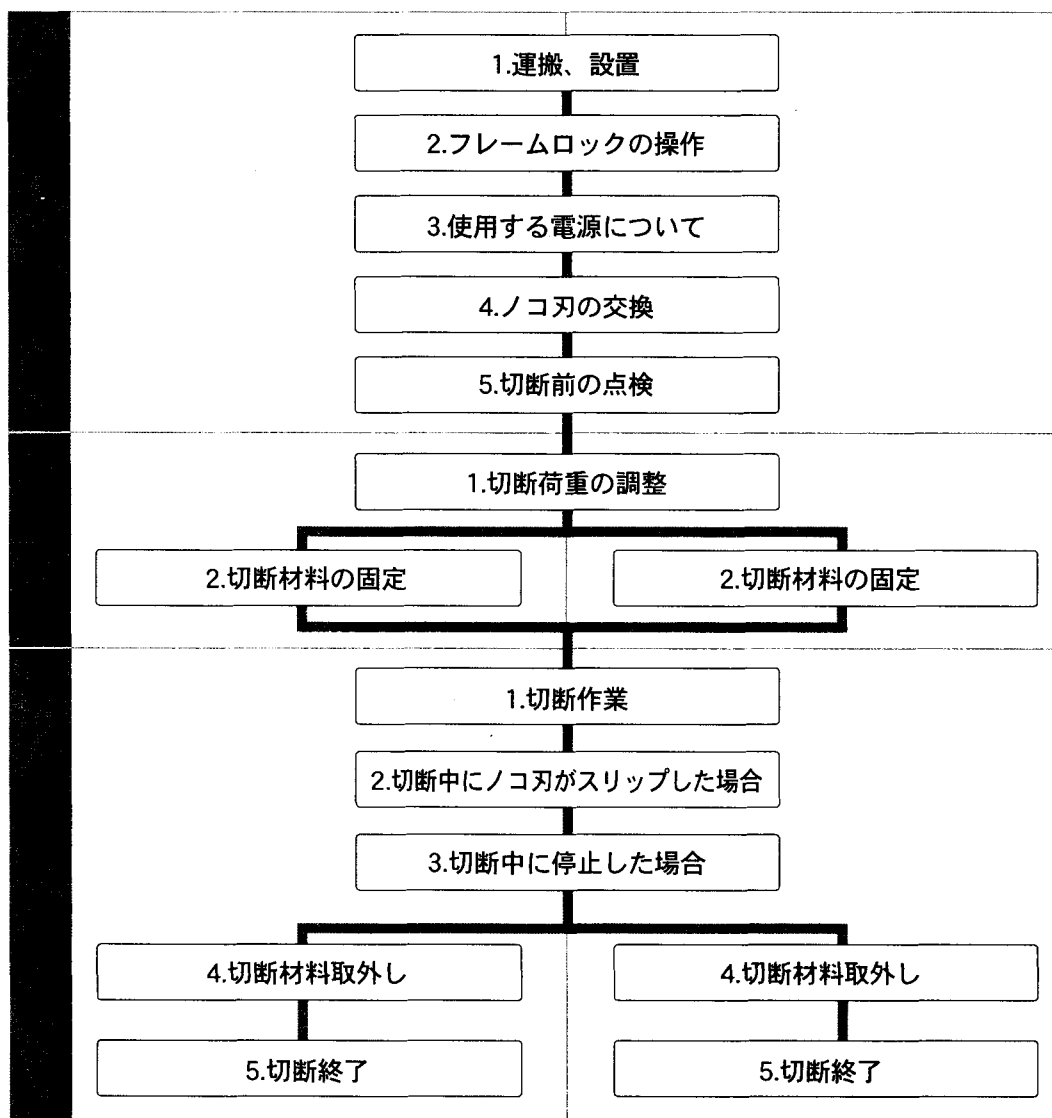
このマークのついた部分をお読みください。

XB120A（平バイス）



XB120Aの場合

このマークのついた部分をお読みください。



- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全にご使用いただくために」の項目を必ず守ってください
- ・ご使用前に、この「安全にご使用いただくために」の項目すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ・この取扱説明書に記載されていること以外の取り扱いをしないでください。

目 次

安全にご使用いただくために	1
マンティス125/120A使用上のご注意	3
各部の名称・標準仕様・標準付属品	4
ノコ刃の種類（オプション）	5
切断荷重とノコ刃の選定について	5
用途	5
作業準備	
1. 運搬・設置	6
2. フレームロックの操作	6
3. 使用する電源について	7
4. ノコ刃の交換	8
5. 切断前の点検	9
切断準備	
1. 切断荷重の調整	10
2. 切断材料の固定	10
切断	
1. 切断作業	12
2. 切断中にノコ刃がスリップした場合	12
3. 切断中にモーターが停止した場合	13
4. 切断材料取外し	13
5. 切断終了	14
その他の使い方	
1. コンター切断	15
メンテナンス	
1. セリヘッドの角度調整	16
2. 各部の手入れ	17
修理をご依頼の時は	17
トラブルシューティング	18

▲ 警 告 , ▲ 注 意 , の意味について

この取扱説明書では、注意事項を ▲ 警 告 区分し ▲ 注 意、それぞれ次の意味を表わします。

▲ 警 告 : 誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容をしめします。

▲ 注 意 : 誤った取り扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が 想定される内容をしめします。

なお、「▲ 注 意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので必ず守ってください。

・この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社の代理店・販売店にご注文ください。

・品質、性能向上あるいは安全上、予告なく使用部品や仕様の変更を行う場合があります。その際には本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▲ 警 告

- ① 使用電源は正しい電圧で使用してください。
 - ・必ず本体の銘板に、もしくは取扱説明書に定格表示してある電圧でご使用ください。表示電圧以外の電圧で使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあります。
- ② 差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。
 - ・スイッチがONの状態ですり込みプラグを電源に差し込むと、急に機械が動きだす恐れがあります。必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ③ 感電に注意してください。
 - ・濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。
 - ・雨中や機械内部に水の入りやすい所では使用しないでください。
 - ・アースは必ず接地してください感電の恐れがあります。
- ④ 作業場での周囲状況も考慮してください。
 - ・雨中、湿った場所、濡れた場所、機械内部に水の入りやすい場所などでは使用しないでください。湿気はモータの絶縁を弱めたり、感電事故のもととなります。
 - ・ガソリン、シンナーなど、可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。引火、爆発の恐れがあります。
- ⑤ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- ⑥ 次の場合は、本体のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または、部品の交換、修理、掃除、点検をする場合。
 - ・付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合（停電の際も含みます）。プラグが差し込まれたままだと、不意に本体が作動して、事故の原因になります。
- ⑦ 異常を感じたらすぐに運転を中止してください。
 - ・運転中、機械の調子が悪かったり、異臭や振動、異常音などに気がついた場合は直ちに機械の運転を中止してください。
 - ・取扱説明書の「トラブルシューティング」の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示に従ってください。そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因となります。
 - ・本体が発熱したり、発煙した場合は、むやみに分解せず、点検・修理に出してください。
- ⑧ 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・作業台、作業場所は常に整理整頓を心がけ、十分明るくしておいてください。
 - ・ちらかった場所や作業台は事故の原因になります。
- ⑨ 作業関係者以外は近づけないでください。
 - ・作業以外、本体や電源コードに触れさせたり機械の操作をさせないでください。
 - ・作業以外、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意してください。ケガの原因になります。
- ⑩ 無理して使用しないでください。
 - ・指定用途以外には使わないでください。安全に能率良く作業するために、本体の能力に合った作業をしてください。無理な作業は製品の損傷をまねくばかりでなく、事故の原因となります。
 - ・モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - ・発熱、発火の恐れがあります。
- ⑪ きちんとした服装で作業してください。
 - ・ネクタイ、そで口のあいた服、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。着用している衣服のボタン、ファスナーなどはすべて閉めて作業を行ってください。回転部に巻き込まれ重大な事故やケガの原因となります。
 - ・屋外での作業の場合にはゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、ケガの原因になります。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。またマフラーなどを着用して作業を行わないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ・作業環境により、保安帽、保護メガネ、安全靴等を着用してください。

安全にご使用いただくために

▲ 警 告

⑫ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。
転倒してケガの原因になります。

⑬ レンチなどの工具類は、必ず取り外してください。

- ・スイッチを入れる前に、点検・調節に用いた工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままで動作させると、事故やケガの原因になります。

⑭ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。注意を怠ると、事故やケガの原因となります。
- ・疲れているとき、酒を飲んだとき、病気や薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない場合は、使用しないでください。事故やケガの原因となります。

⑮ 電源コードは乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って製品を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりしないでください。
- ・コードを高熱のもの、油脂類、刃物類、角のところがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、配線する場所に注意してください。

感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑯ 日頃から注意深く手入れをしてください。

- ・付属品や部品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・電源コードや差し込みプラグは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。

感電や、ショートして発火する恐れがあります。

- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には変換してください。また、屋外で使用する場合には、屋外使用にあった延長コードを使用してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。すべて、ケガの原因になります。

⑰ 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用する前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・差し込みプラグやコードが破損している機械は使用しないでください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ・スイッチで始動および停止操作のできない機械は、使用しないでください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。

⑱ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

⑲ 機械の分解・修理は、専門店に依頼してください。

- ・当社の製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しただけでなく、事故やケガの原因になります。

⑳ 定められた用途以外には使用しないでください。

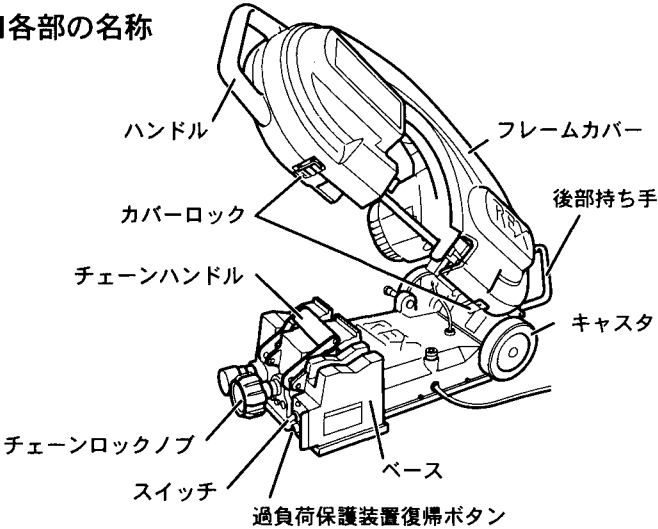
- ・用途以外に使用すると、事故やケガ、破損などの原因となります。

▲ 警 告

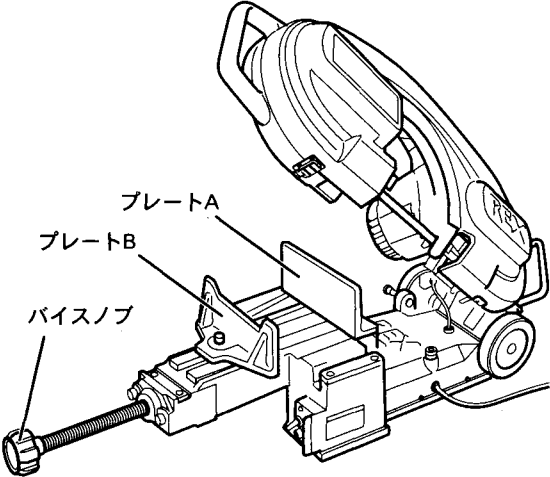
- ① 回転中のノコ刃に触れないでください。
 - ・ 運転中や、スイッチをOFFにしてからしばらくの間など、ノコ刃が動いているときは絶対にノコ刃や回転部に触れないでください。巻き込まれ事故やケガの原因となります。
- ② 作業中は手袋をしないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ事故やケガの原因となります。
- ③ 切断直後の切断材料、ノコ刃に素手で触れないでください。
 - ・ 切断直後の切断部やノコ刃は高温になっていますので、素手で触れないでください。火傷などケガの原因となります。
- ④ 異常時は直ちに運転を中止してください。
 - ・ 運転中、機械の調子が悪かったり、異常が発生した場合は直ちにスイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
- ⑤ フレームカバーは必ず取付けた状態で使用してください。
 - ・ フレームカバーを取付けずに運転するとノコ刃や回転部に巻き込まれ、事故やケガの原因となります。
- ⑥ 本体は平坦な場所に設置し、安定した状態で使用してください。
 - ・ 傾斜した地面への設置は避け、必ず平坦な場所に設置してください。作業中に転倒し、事故やケガの原因となります。
 - ・ コンター切断を行う場合は特に転倒に注意し、フレームが手前に倒れないことを確認してください。
- ⑦ ノコ刃交換時や切断材料取付け時は必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。
 - ・ 特にノコ刃交換時はスイッチをOFFにするだけでなく、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ⑧ 切断時、フレームを急激に落下させないでください。
 - ・ ノコ刃などの破損の原因となります。
- ⑨ 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - ・ 本機は厳密な精度で加工されていますので、転倒させたり、運搬時に落下させると、破損などの原因となります。
 - ・ 運搬時は落下に注意してください。機械が破損するばかりでなく、足の上などに落下すると事故やケガの原因となります。
- ⑩ 電源は必ずAC100Vを使用してください。
 - ・ AC100V以外の電圧で使用するとモータが焼損し、破損や事故の原因となります。
- ⑪ 切断材料はしっかりと固定してください。
 - ・ 固定が不十分だと切断中に材料が動き、ノコ刃が破損したり、振動の原因となります。
 - ・ 束ね切りを行う場合は、切断するすべての材料が固定されていることを確認してください。
- ⑫ 切断材料に適した純正のノコ刃を使用してください。
 - ・ ノコ刃は切断材料に適したものを使用してください。
 - ・ ノコ刃は必ず純正品を使用してください。
- ⑬ 切断材料に適した荷重で切断してください。
 - ・ 無理な荷重で切断したり、切断中にフレームを押し付けたりすると、斜め切れやノコ刃の欠け、折損、モータロックなどの原因となります。
- ⑭ ノコ刃は確実に取付けてください。
 - ・ 切断中に外れ、ケガや事故の原因となります。
- ⑮ ノコ刃、切断材料に付着した油は必ず拭き取ってから使用してください。
 - ・ ノコ刃には出荷時防錆油が塗布されていますので、取付け前に必ず拭き取ってください。そのまま使用するとノコ刃のスリップや、外れの原因となります。
 - ・ 切断材料に油が付着している場合も同様に拭き取ってください。
 - ・ 切断時、切削油などをノコ刃に注油しないでください。

各部の名称・標準仕様・標準付属品

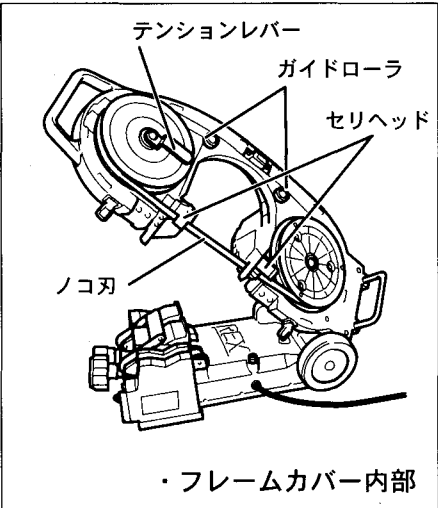
■各部の名称



XB125 (チェーンバイス)



XB120A (平バイス)



・フレームカバー内部

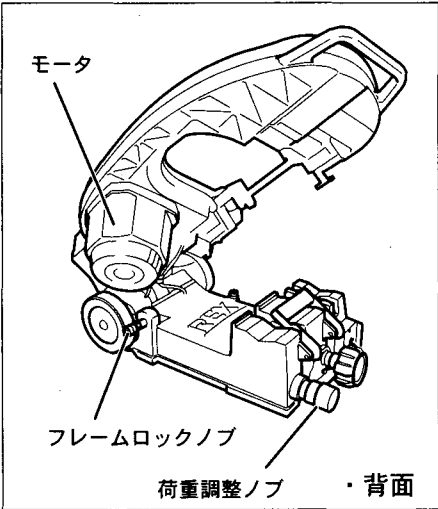


図 1

■標準仕様・標準付属品

形 式		XB125	XB120A
バ イ ス 方 式		チェーンバイス	平バイス
切 断 能 力	パイプ	φ125mm □100mm	φ120mm □105mm
	丸棒(軟鋼棒)	φ60mm	φ60mm
	45°切断		φ50mm □50mm
電 源		単相交流100V (50/60Hz)	
モ ー タ		分相始動式200W (出力)	
ブ ー リ 回 転 数		70回転/分 (50Hz)、84回転/分 (60Hz)	
機 械 寸 法		780(L)×340(W)×335(H)mm	
質 量		33kg	35kg
標 準 付 属 品		帯ノコ刃 ハイ14山 (品番No.475312)×1本	
		六角棒スパナ(5mm)×1本	ソケットレンチ(17mm)×1本
			六角スパナ(10mm)×1本

表 1

ノコ刃の種類(オプション)

ノコ刃は必ず次表の純正品を使用してください。

品番	ノコ刃 材質	山数	用途(切断材料)				単位
		(山/インチ)	鋼管	ステンレス管	鋼材	電線管	
475302	合金	14	15A以上	—	肉厚6mm以上	—	10本
475303		18	6A以上	—	肉厚4mm以上	厚鋼	
475312	ハイス	14	15A以上	肉厚4mm以上	肉厚6mm以上	—	5本
475313		18	6A以上	肉厚2mm以上	肉厚4mm以上	厚鋼	
475314		24	—	肉厚2mm以下	肉厚2mm以下	薄鋼	

表2

切断荷重とノコ刃の選定について

切断材料の種類、径、肉厚などに合わせて最適な荷重とノコ刃を選定してください。

切断材料		合金		ハイス		
		14山	18山	14山	18山	24山
配管用炭素鋼鋼管 (呼び径)	25A 以下	L	L	L	L	
	32A～50A	M	M	M	M	
	65A～100A	H	H	H	H	
電線管	厚鋼		M		M	
	薄鋼		L		L	L
鋼材[丸棒・形鋼] (肉厚)	1.9mm以下				LL	
	2～3.4mm		M		M	
	3.5～4.9mm		M		M	
	5mm以上	H		H		
ステンレス管 (肉厚)	1.2mm以下					LL
	1.3～2mm				L	L
	2.1～3.9mm				M	M
	4mm以上			H		
樹脂管		LL	LL	LL	LL	
鋳鉄管		H		H		

LL＝超軽荷重 L＝軽荷重 M＝中荷重 H＝重荷重

表3

※上記表は目安ですので、切断材料に応じてノコ刃切断荷重を選定してください。

※ノコ刃の山数の選定は、切断材料の肉厚にノコ刃の山が2山かかることを基準に選定してください。

用 途

・鋼管、棒鋼などの各種軟鋼材の切断

※焼入鋼などの硬い材料は切断しないでください。ノコ刃が極度に磨耗します。

・ステンレス管や樹脂管の切断

※熱軟化性のプラスチック材料は切断しないでください。

切削時の熱により材料が溶けてノコ刃がくい込み、モータが焼損する原因となります。

作業準備

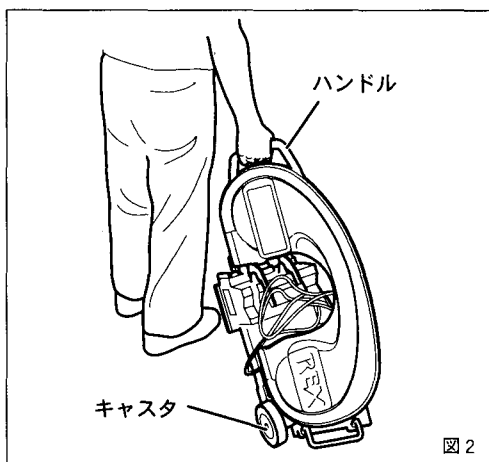
1. 運搬、設置 (図2～図3)

⚠ 警告

運搬の際は落下に注意してください。機械が破損するばかりでなく、足の上などに落下するとケガや事故の原因となります。

運搬方法

- ①梱包時の製品はフレームがロックされた状態になっていますので、ハンドルを持ち上げるとキャスタが設地し、転がして運搬できます。(図2)



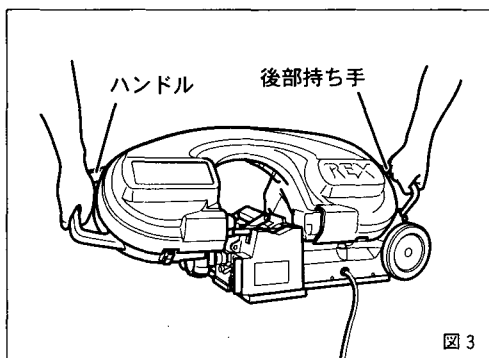
- ②持ち上げて運ぶ場合はハンドルと後部持ち手を持ち、必ず2人以上で運んでください。(図3)

設置方法

- ①平坦な場所を選んで設置してください。

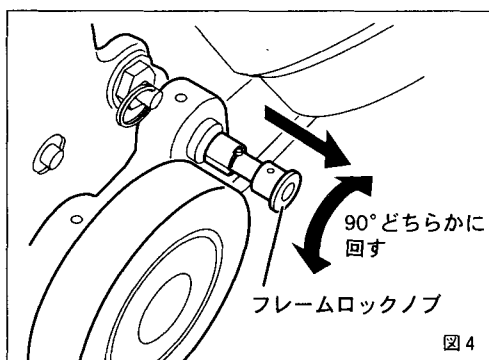
⚠ 注意

設置は平坦で安定した場所に行ってください。傾いた場所などに設置すると作業中に転倒し、事故やケガの原因となります。

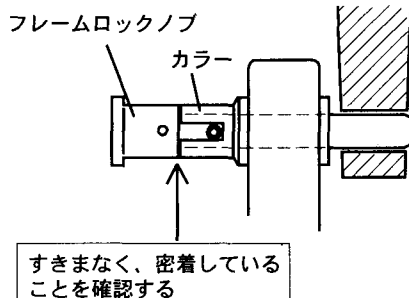


2. フレームロックの操作 (図4～図5)

- ①モータ左下部にあるフレームロックノブを引きながら、左右どちらかの方向に90°回転させてください。(図4)
- ②フレームロックノブが出たままの状態になればロックが解除されています。運搬の際は同じ手順でフレームをロックして運んでください。



●フレームロックの状態



⚠ 警告

フレームロックの注意 (図5)

フレームロック時、フレームロックノブがカラーの端面と密着していることを必ず確認してください。すきまが開いた状態ではロックピンが穴に完全に差し込まれておらず運搬中にロックが外れる場合があり、事故やケガの原因となります。

3. 使用する電源について (図6)

AC100Vの電源を使用してください。その際、以下の項目について確認してください。

漏電遮断器の確認

接続する電源に、労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断器（以下漏電遮断器）が設置されていることを確認してください。

接地（アース）の確認

本機は必ず接地（アース）を行い使用してください。
定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電遮断器の設置されている電源で使用する場合でも、安全のため、接地（アース）を行ってください。

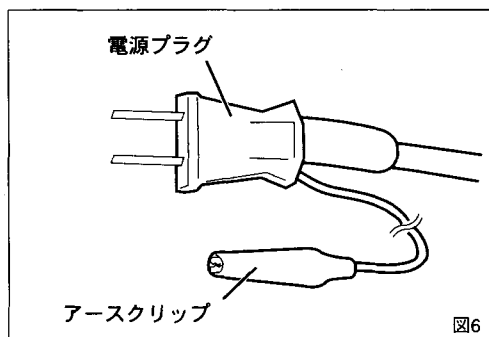


図6

⚠ 警告

接地（アース）線をガス管に取付けると爆発します。絶対に行わないでください。

接地（アース）は電源プラグの先端にあるアースクリップを使用してください。（図6）

アースクリップ、アース線は念のため、異常がないことを確認してから使用してください。テスターや絶縁抵抗計などを使用して、アースクリップと本体ベース部（金属部）との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、接地線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。

漏電遮断器や接地（アース）については次の法規がありますので、参照してください。

- ・労働安全衛生規則（第333条、第334条）
- ・電気設備の技術基準（第18条、第28条、第41条）

延長コードを使用する場合

電源の位置が離れていて延長コードが必要な場合は、充分な太さのものをできるだけ短くして使用してください。

表4は本機で使用するこのできる延長コードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示しています。

漏電遮断器の設置されていない電源の場合は必ず接地（アース）できる接地用の1心を持つ3心キャブタイヤケーブルを使用してください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	15m
3.5mm ²	30m

表4

⚠ 警告

延長コードは必ず損傷のないものを使用してください。

作業準備

4. ノコ刃の交換 (図7～図12)

切断する材料にノコ刃が適しているか確認し (P.5 参照)、適していない場合はノコ刃を交換してください。

⚠ 警告

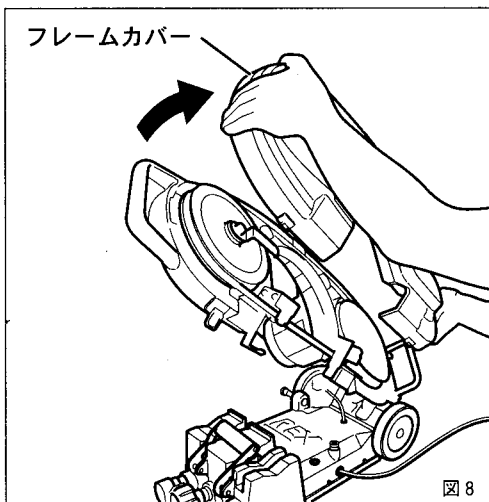
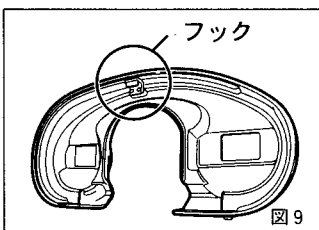
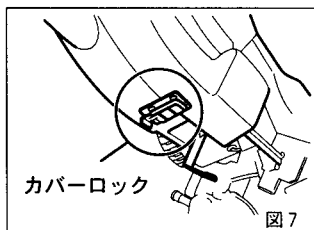
- ・ノコ刃の交換の際は必ず電源プラグを電源から抜いた状態で行ってください。不意に起動してケガや事故の原因となります。
- ・素手で直接刃先に触れないでください。ケガの原因となります。交換の際は手袋、保護メガネを着用してください。

新品のノコ刃を取付けるときは

- ①ノコ刃のスリップ防止のため、ノコ刃に付着している防錆油は完全に拭き取ってから取付けてください。また、同時にブーリーやベアリングに付着した油や切粉も拭き取ってください。
- ②新品のノコ刃は刃欠けや斜め切りになりやすいため、ならし切断を必ず行ってください。
ならし切断：荷重は軽荷重 (L) にセットし、50A以上のガス管を1～2回切断してください。

フレームカバーの取外し

- ①フレームを上げた状態にし、フレーム下部にある2箇所のカバーロックを外します。(図7)
 - ②フレームカバーを持ち、上方向にずらしながら取り外します。(図8)
- ※フレームカバーの上部にはフックが付いていますので、上方向にずらして取り外してください。(図9)

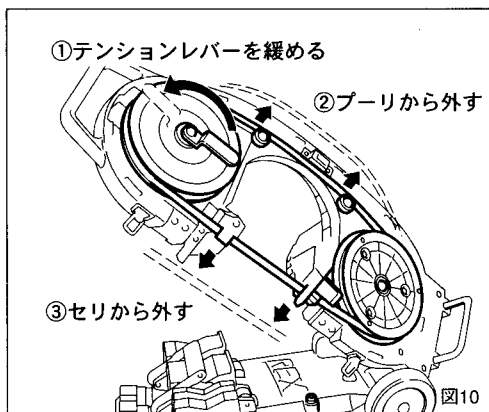


⚠ 警告

- ・フレームカバーを取外す際はノコ刃の飛び出しに注意してください。事故やケガの原因となります。特に破断したノコ刃を交換する場合、ノコ刃が飛び出しやすいので、十分に注意しながらゆっくりとフレームカバーを取外してください。

ノコ刃の取外し (図10)

- ①持ち手側にあるブーリーのテンションレバーを反時計方向に回すとノコ刃の張りが緩みます。
- ②ブーリー部からノコ刃を外します。
- ③最後にセリ部からノコ刃を外します。



ノコ刃の取付け (図11)

- ・図10の①～⑤順でノコ刃を取付けます。
最後にテンションレバーを時計方向に回し (⑥)、ノコ刃を張ります。

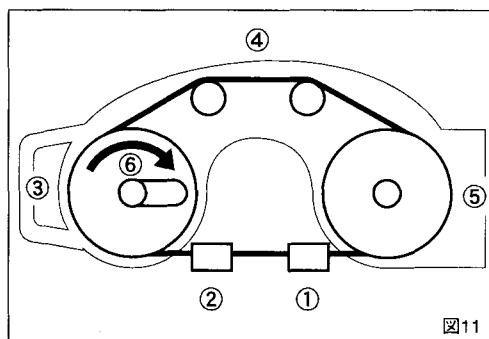


図11

取付けの確認 (図12)

- ・ノコ刃が正しくセットされているか確認してください。
 - ・セリベアリングの奥まで入っていること
 - ・プーリのつばに乗り上げていないこと
- ・プーリA (車輪側) を手でゆっくりと反時計方向に回し、ノコ刃がずれたり、外れたりしないことを確認してください。
- ・取付けが完了したら必ずフレームカバーを取付けてください。

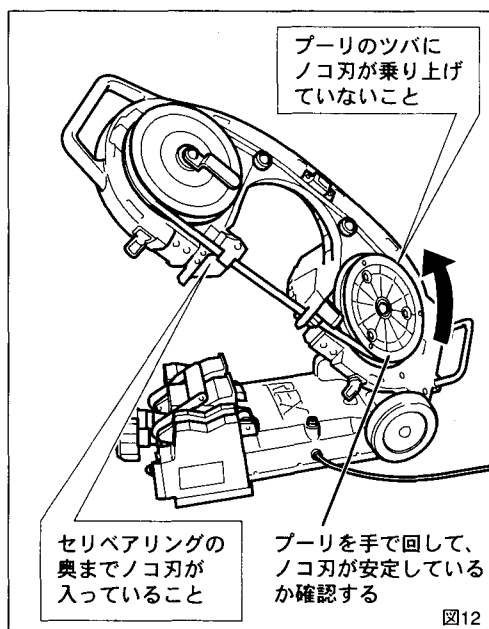


図12

5. 切断前の点検 (図13)

- ①電源プラグをコンセントに接続します。
- ②フレームを上げた状態でベース前面右側にあるスイッチをONにします。
- ③以下の点を確認してください。
 - ・モータや回転部から異常音などがしないこと
 - ・ノコ刃が外れたり、ずれたりしないこと
 - ・フレームを下ろし、スイッチがOFFになること
- ④確認が終わったら、電源プラグをコンセントから一旦、外しておいてください。

⚠ 警告

- ・フレームカバーは必ず取付けた状態で点検を行ってください。点検中にノコ刃が外れると、飛び跳ねて顔などに当り、事故やケガの原因となります。

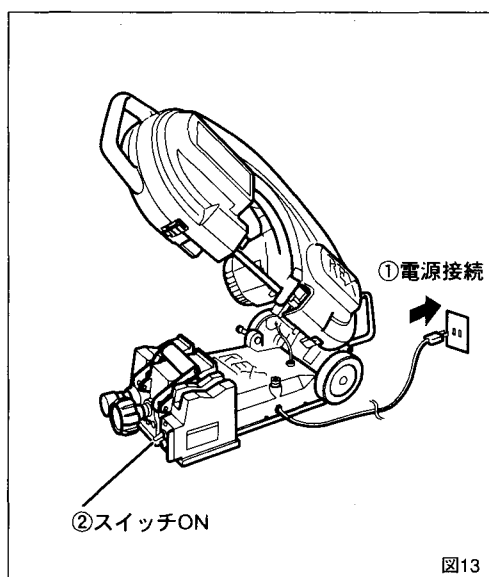


図13

切断準備

1. 切断荷重の調整 (図14)

P.5の表を参考にして、切断材料に合った荷重に調整します。

- ①フレームを最上部まで持ち上げます。
- ②荷重調整ノブを引きながら回し、切断材料に合った荷重に合わせます。
- ③持ち上げていたフレームをゆっくりと下ろします。
※この時、フレームのストッパーが解除されていることがありますので、注意してください。

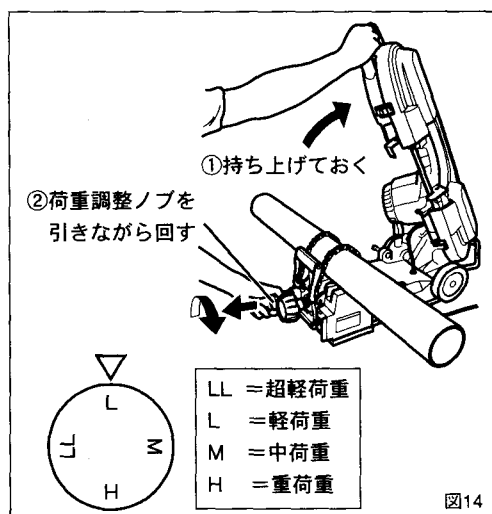


図14

2. 切断材料の固定 (図15～図22)

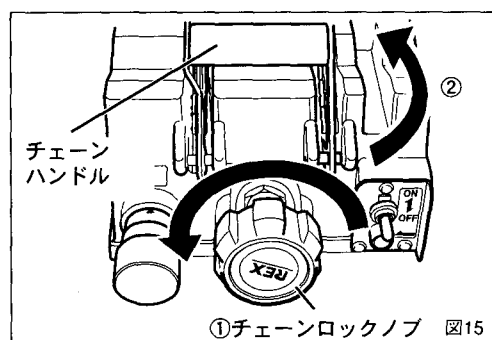
▲ 注意

切断材料がしっかりと固定されていることを確認してください。固定が不十分だと、切断が不安定になり、機械が破損するばかりでなく、事故やケガの原因となります。

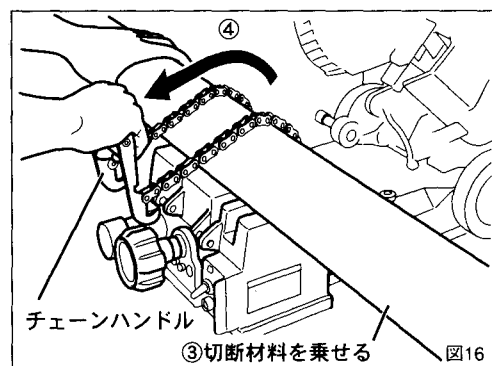


XB125 (チェーンバイス) の場合 (図15～図17)

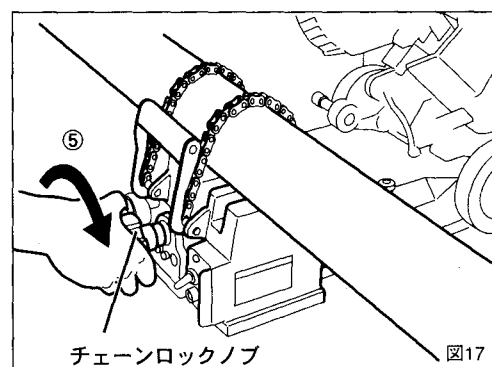
- ①チェーンロックノブを反時計方向に回し、チェーンのロックを解除します。(図15)
- ②チェーンハンドルのフックを外し、バイス部奥へ持っていきます。(図15)
- ③バイス台のV字溝に切断材料を乗せます。(図16)
※長尺物の場合は水平になるように片側を受台などで支えてください。
- ④チェーンハンドルを持ってチェーンを引きだし、フックをベースにかけます。(図16)
※チェーンが引き出せない場合はチェーンロックノブを反時計方向に回してロックを解除してください。
- ⑤チェーンロックノブを時計方向に回し、チェーンを締付けます。(図17)



①チェーンロックノブ 図15



③切断材料を乗せる 図16



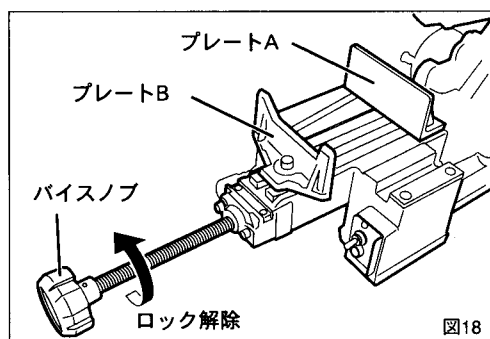
チェーンロックノブ 図17



XB120A (平バイス) の場合 (図18～図23)

プレートBの移動方法 (図18)

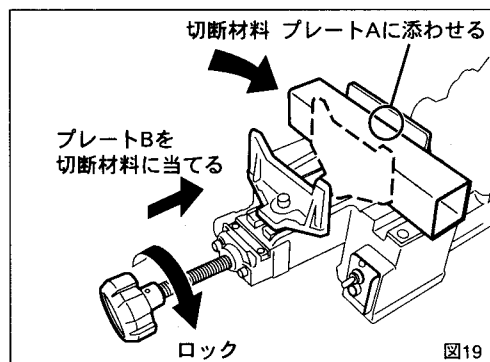
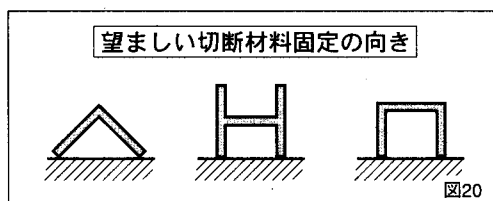
- ① バイスノブを反時計方向に回し、送りねじのロックを解除します。
- ② そのままバイスノブを前後に動かすとプレートBの移動がクイックに行えます。



90° 切断の場合

- ① プレートAに沿うように切断材料をバイスに載せます。
(図19)

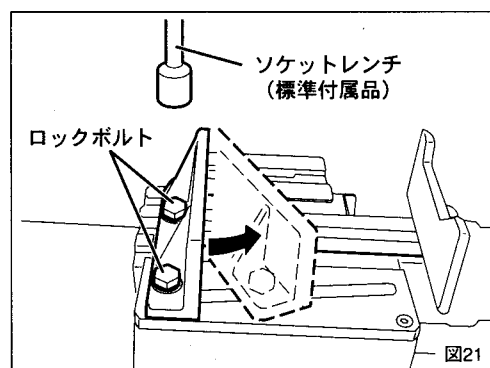
※切断材料は切断肉圧が急激に変化しない方向にセットしてください。(図20)
切断中に肉圧が急激に変化すると刃欠け、斜め切れ、モーターロックなどの原因となります。



- ② バイスノブを押し、プレートBを切断材料に当てます。
(図19)

- ③ バイスノブを時計方向に回し、切断材料をしっかりと締め付けます。

※切断材料はバイス底面に密着するように固定してください。浮き上がった状態で固定すると斜め切断の原因となります。

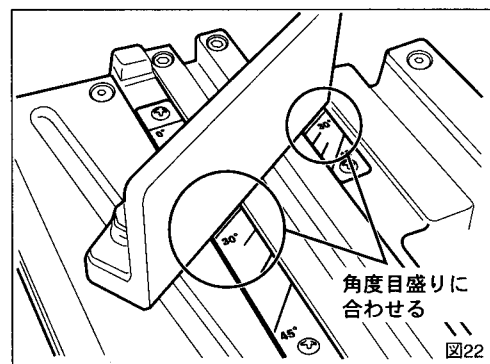


角度切断の場合 (0～45°)

- ① プレートAのロックボルト2ヶ所を付属のソケットレンチで緩めます。(図21)

- ② プレートAを切断したい角度の目盛りに合わせて、ロックボルトをしっかりと締め付けます。(図22)

- ③ 90° 切断の場合と同様の方法で材料を固定してください。



切断

1. 切断作業 (図23～図25)

①電源プラグをコンセントに接続します。(図23)

⚠ 注意

プラグを差し込む前には必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。不意に起動してケガや事故の原因となります。

切断作業中は手袋をしないでください。回転部に巻き込まれ事故やケガの原因となります。

②ハンドルを持ち、いったん最上部までフレームを上げてストッパーを解除します。(図23)

③ベース前面右側にあるスイッチをONにし、ノコ刃を回転させます。(図24)

④ノコ刃が十分に回転速度を上げてからゆっくりと切断材料の上にノコ刃を乗せます。(図25)

※切断材料の上にノコ刃を乗せた状態でスイッチをONにしないでください。ノコ刃の損傷や斜め切れの原因となります。

※ノコ刃を急激に切断材料に落とさないでください。ノコ刃の損傷や斜め切れの原因となります。

⑤あとは自動的に切断していき、切断が終了するとスイッチがOFFとなり停止します。(図25)

⚠ 注意

切断直後の切断材料やノコ刃は高温になっていますので、素手で触れないでください。火傷などケガの原因となります。

2. 切断中にノコ刃がスリップした場合

・切断材料やマシンの各部(ノコ刃、プーリ、ベアリング)に油などが付着していると、切断中にノコ刃とプーリがスリップし、プーリの空転状態となります。その場合は直ちにスイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いた上で、切断材料やマシン各部に付着した油をウエスなどで拭き取ってください。

※ノコ刃がスリップした状態で運転を続けると、プーリのゴムリングの焼損や、プーリの破損の原因となります。

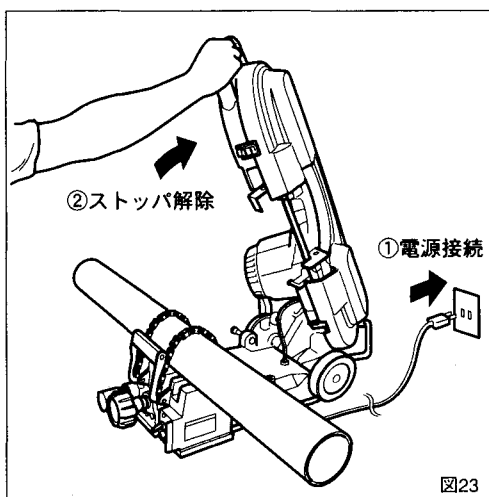


図23

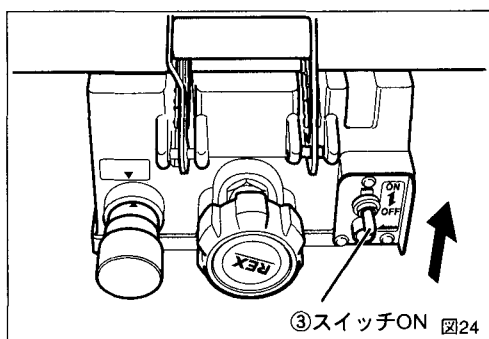


図24

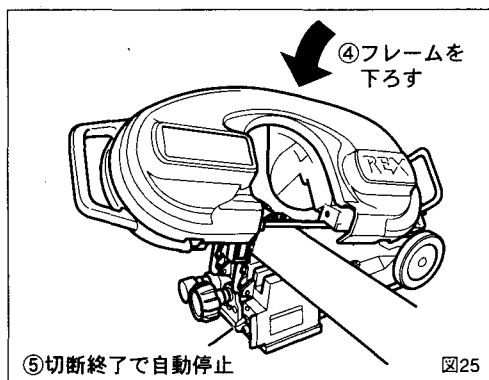


図25

3. 切断中にモータが停止した場合 (図26)

- ・切断中に無理な荷重がかかったり、ノコ刃が切断材料にかみ込んでロックした場合などは、過負荷保護装置が作動し、モータの回転が停止します。

過負荷保護装置が作動した場合は以下の手順で復帰させてください。

- ①スイッチをOFFにする
- ②原因を取り除く
- ③スイッチの下にある過負荷保護装置復帰ボタンを押す (図26)

※モータが過熱していると、すぐに復帰できない場合があります。その場合は数分待って再び復帰ボタンを押してください。

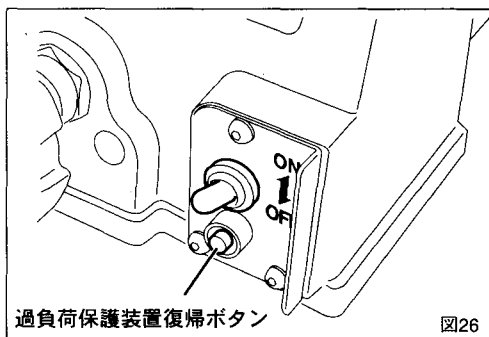


図26

4. 切断材料取外し (図27～図29)



XB125 (チェーンバイス) の場合
(図27、図28)

- ①ハンドルを持ち、フレームを最上部まで上げてストッパーでフレームが止まるのを確認します。(図27)
- ②チェーンロックノブを反時計方向に回して、チェーンのロックを解除します。(図27)
- ③チェーンハンドルのフックをベースから外します。チェーンは自動的に巻取られます。(図28)
- ④切断材料を取外します。(図28)

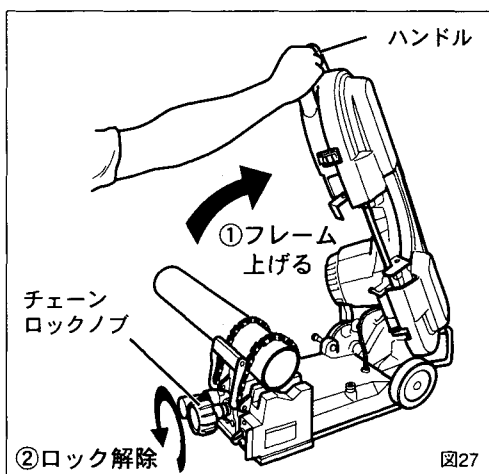


図27

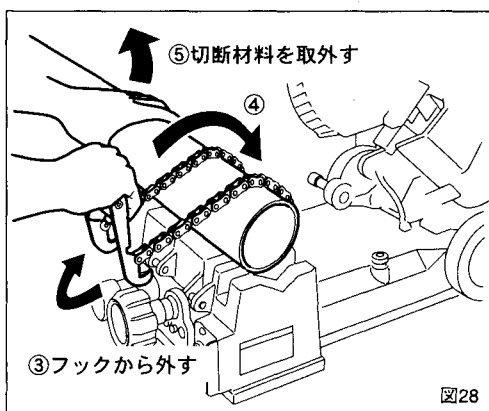


図28



XB120A (平バイス) の場合
(図27、図29)

- ①ハンドルを持ち、フレームを最上部まで上げてストッパーでフレームが止まるのを確認します。(図27)
- ②バイスノブを反時計方向に回してロックを解除します。(図29)
- ③バイスノブを引き、切断材料を取り外します。(図29)

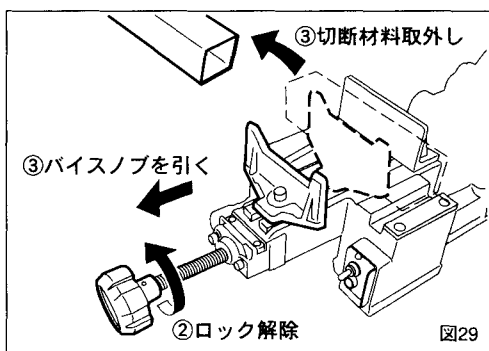


図29

切断

5. 切断終了 (図30～図31)



XB125 (チェーンバイス) の場合 (図30)

- ①チェーンハンドルは、フックをベースにかけ、チェーンロックノブを軽く時計方向に回して固定しておきます。

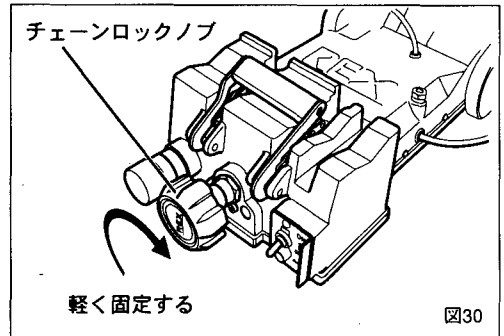


図30



XB120A (平バイス) の場合 (図31)

- ①プレートBがプレートAに当るまでバイスノブを押し込み、軽く時計方向に回して固定します。

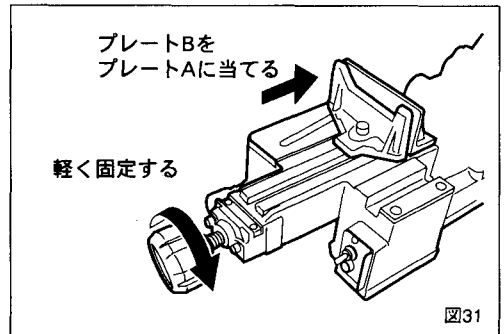


図31

※切断時に出た切粉などは清掃し、取り除いてください。

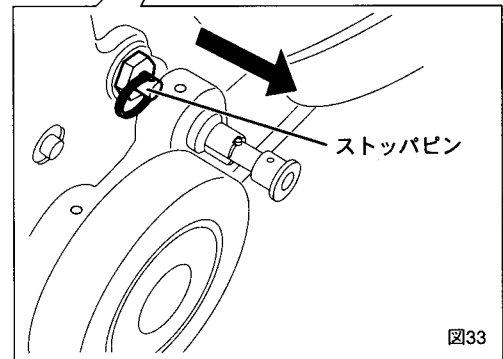
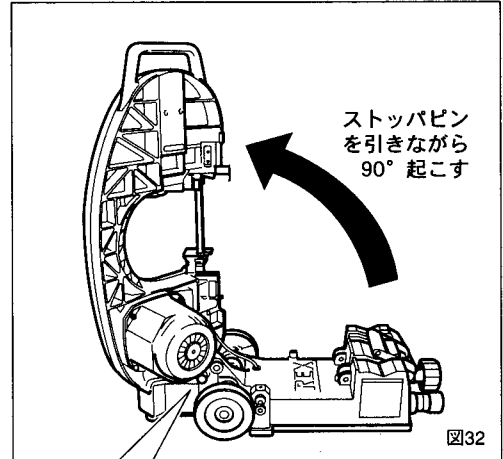
※被覆管などを切断した際に発生した樹脂などの切粉がフレーム内部のブーリに付着すると、ノコ刃のスリップの原因となります。必ず取り除いてください。

1. コンター切断 (図32～図34)

本機はコンターとして使用することができます。以下の手順、注意に従い操作してください。

⚠ 警告

- ・コンター切断は必ず平坦で安定した場所で行ってください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、作業中にフレームが倒れ、事故やケガの原因となります。
- ・使用中は手袋を着用しないでください。回転部に巻き込まれ事故やケガの原因となります。
- ・切粉が飛散する場合がありますので、必ず保護メガネを着用してください。
- ・丸材の切断は行わないでください。切断時に回転し、事故やケガの原因となります。
- ・切断は切断材料の両側をノコ刃から10センチ以上離れたところでしっかりと支えながら行ってください。近すぎるとノコ刃に巻き込まれ、事故やケガの原因となります。



①モータの左側にあるストップピンのリングを引ながらハンドルを持ってフレームを起こし、垂直に立てます。(図32、34)

②スイッチをONにし、ノコ刃を回転させます。

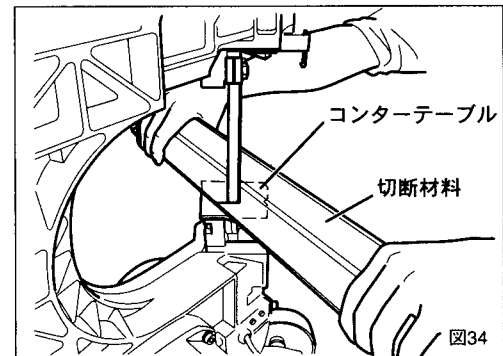
③切断材料をコンターテーブル面に置き、徐々に送って切断していきます。(図34)

※切り込み時や切れ落ち時は特にゆっくりと送ってください。

※切れ落ち時は押し付ける力を弱めて、身体が前のめりにならないように注意してください。

④切断終了後はすぐにスイッチをOFFにしてください。
続けて使用しない場合は危険防止のため、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

⑤ストップピンのリングを引ながら、ハンドルを持ち、フレームを下ろすと通常切断位置に戻ります。



※ノコ刃は直線切り専用です。曲線切りはできません。曲線切りを無理に行くとノコ刃に曲がりぐせがついたり、刃が欠けたりすることがあります。

※コンター切断に使用したノコ刃は曲がりぐせがつきやすいため、通常切断を行う際は新品のノコ刃に交換してください。

メンテナンス

⚠ 警告

- ・点検・手入れをする時には、必ずスイッチをOFFにし、さらに差し込みプラグを電源から抜いて作業してください。接続をしたままでは不意に作動して、ケガの原因になります。
- ・点検・手入れの時に異常が発見されたら、「修理・サービスを依頼される前に」の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示にしたがってください。そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因となります。

1. セリヘッドの角度調整 (図35)

上下方向の斜め切れの場合、セリヘッドの角度を調整することで修正が可能です。調整を行う場合は必ず2つのセリを同様に調整してください。

セリヘッドの調整を行う前に

斜め切れには以下の原因が考えられます。セリヘッドの調整を行う前にこれらの確認、修正を行ってください。(セリヘッドを調整しなくてもよい場合があります)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ・ノコ刃の摩耗やアサリの偏摩耗 | → ノコ刃を交換する |
| ・切断中に切断材が動いた | → 切断材料を正しくクランプする |
| ・切断荷重が重い | → 切断材料に合った荷重に調整する |
| ・ノコ刃の山数が切断材料に合っていない | → 切断材料に適した山数のノコ刃に交換する |
| ・セリベアリングの摩耗 | → 新品のベアリングに交換する |

①P.8の手順に従い、ノコ刃を取外します。

②セリヘッドの固定ボルトを緩め、斜め切れの症状に合わせてセリヘッドを回転させます。

・セリヘッドの側面には、基準ケガキ線が入っています。このケガキ線を基準に、セリヘッドをずらして調整します。

●セリヘッドを白矢印(図35)方向にずらすとパイプも白矢印方向に切断されます。

●セリヘッドを黒矢印(図35)方向にずらすとパイプも黒矢印方向に切断されます。

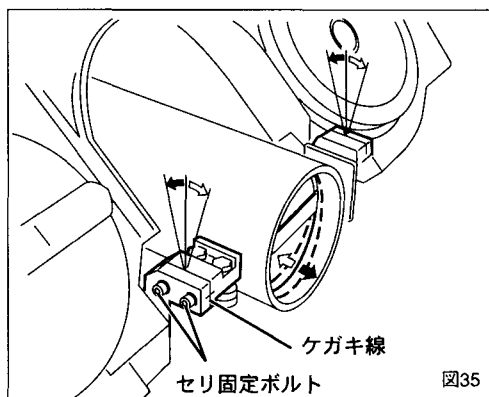


図35

※100Aパイプの場合、セリヘッドをケガキ線から0.5mmずらすと約1mmの斜め切り調整ができます。但し、あくまで目安であり、様々な条件で変化しますので調整後のテスト切断を必ず行ってください。

④セリヘッドの固定ボルトをしっかりと締付けます。

⑤P.9の手順に従い、ノコ刃を取付けます。

※ノコ刃を交換する場合、調整したセリヘッドは再度標準位置に戻してから切断を行ってください。

2.各部の手入れ (図36)

●ノコ刃の点検

- ・ノコ刃に刃欠けや、損傷がないことを確認してください。刃欠け、損傷がある場合はノコ刃を交換してください。
- ・切れ味が悪くなったノコ刃をそのまま使用すると、斜め切れの原因となります。

●各部取付けねじの点検

- ・各部の取付けねじが緩んでいないことを確認してください。緩んでいる場合は締め直してください。

●電気まわりの点検

- ・電源プラグ、コードなどに損傷がないことを確認してください。損傷がある場合は交換してください。

●セリ部の点検

- ・セリヘッドが2箇所とも正しく調整されていることを確認してください。
- ・セリヘッドのベアリングが、摩耗していないことを確認してください。摩耗している場合は新品と交換してください。

●清掃

- ・本体やプーリに付着している切粉やゴミなどを布などを使用して拭き取ってください。

※モータ部は水で濡らさないように注意してください。

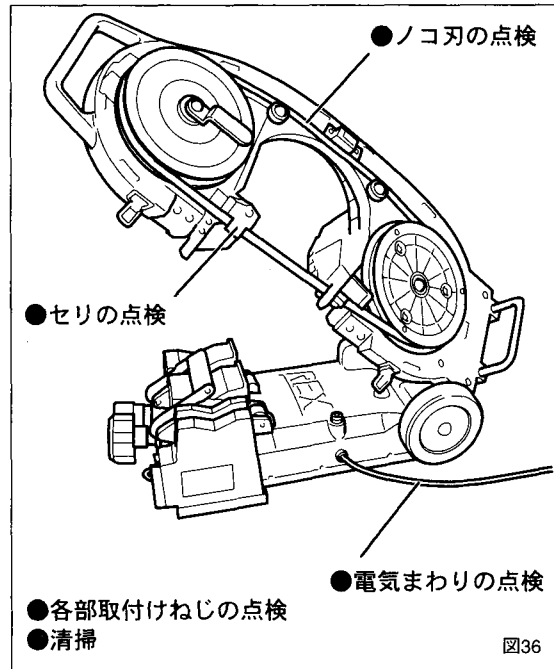


図36

修理をご依頼のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、決して自分で修理をせず、下記のところにご依頼ください。

最寄りの { レックス製品取扱店
 レックス工業営業所 (裏表紙参照)
 レックステクノサービスG 0729-63-1960 }

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上でご不明の点がありましたら遠慮なくお問い合わせください。

メンテナンス部品の
保有期間について

本製品のメンテナンス部品の供給は製造停止後7年とします。ただし電子部品は5年とします。

トラブルシューティング

⚠ 警 告

- ・該当する項目や指示がない場合は、ご自分で分解したり修理したりしないでください。
- ・該当する項目や指示がない場合、あるいは「修理・サービスを依頼してください。」の指示がある場合には、必ずお買い求めの販売店、当社にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。製品に異常が生じたときは、次の点をお調べの上お買い上げの販売店、または当社にご連絡ください。

症 状	原 因	対 策
斜め切断	切断荷重が重い	切断材料に適した荷重にする (P.5)
	ノコ刃の取付け不良	ノコ刃をセリヘッド、ガイドローラ、ブーリに正しくセットする
	ノコ刃の急激な落下	ノコ刃を静かに降ろす
	斜め切れが発生したノコ刃を使用している、またはノコ刃の摩耗	ノコ刃を新品と交換する
	ノコ刃の山数が切断材料に合っていない	切断材料に適したノコ刃に交換する (P.5)
	セリヘッド部ベアリングの摩耗	ベアリングを新品と交換する (修理・サービスを依頼してください)
	切断中に切断材料が動いた	切断材料を V 字溝に接した状態でしっかり締付ける
	切断材料の締付け状態が悪い	長方形のものは高さ方向がなるべく低くなるように締付ける
	テンションレバーのセット不足	テンションレバーを「しめる」の方向へ正しくセットする
	純正品以外のノコ刃を使用している	純正品のノコ刃を使用する
切断時間が長い	切断荷重が軽い	切断材料に適した荷重にする (P.5)
	ノコ刃山数が切断材料に適していない	切断材料に適したノコ刃に交換する (P.5)
	ノコ刃の摩耗	ノコ刃を新品と交換する
切断中に振動が発生する	テンションレバーが「しめる」の方向にセットされていない	テンションレバーを「しめる」の方向にセットする
	切断材料がしっかりクランプされていない	切断材料をしっかり締付ける
	ノコ刃の刃欠けや亀裂	ノコ刃を新品と交換する

表 5

トラブルシューティング

症 状	原 因	対 策
ノコ刃がスリップする ノコ刃が外れる	ノコ刃の取付け不良	ノコ刃をセリヘッド、ガイドローラ、ブーリに正しくセットする
	ノコ刃に油が付いている	ノコ刃の油を拭き取ってセットする
	切断材料に油が付いている	切断材料の油を拭き取ってセットする
	ブーリ、セリヘッドのベアリング、ガイドローラに油が付いている	各部の油を拭き取る
	テンションレバーの締付けが不足している	テンションレバーを所定の位置まで回転させる
	ブーリのゴムリングの摩耗	ゴムリングを新品に交換する (修理・サービスを依頼してください)
	ブーリのゴムリングに樹脂や切粉が付着している	ゴムリングをウエスで清掃する
モータが回らない	過負荷保護装置が作動している	P.13の手順に従い、復帰させる
	差し込みプラグが電源から外れている	電源プラグをコンセントに接続する
	電源コードの断線	修理・サービスを依頼してください
	スイッチの故障	修理・サービスを依頼してください
	モータの故障	修理・サービスを依頼してください
切断中にモータが止まる	過負荷保護装置が作動した	P.12の手順に従い、復帰させる
	電源電圧が低い	100V電源に接続しなおす
	のこ刃が切断材料に合っていない	切断材料に適合したのこ刃に交換する (P.5)
	切断荷重が重い	切断材料に適合した荷重にする (P.5)
	切断中に材料が動いた	切断材料を、バイス面に接した状態でしっかり締付ける

表6



レッキス工業株式会社

東京支店	〒170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	Tel.03(3980)5341
大阪支店	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(965)9811
札幌営業所	〒006-0832	札幌市手稲区曙2条4丁目3番31号	Tel.011(682)3711
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3丁目1番13号	Tel.022(232)1697
東京営業所	〒170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	Tel.03(3980)5341
前橋営業所	〒371-0846	群馬県前橋市元総社町932番8号	Tel.027(253)8691
神奈川営業所	〒243-0804	神奈川県厚木市関口150番地の1	Tel.046(245)3981
名古屋営業所	〒454-0806	名古屋市中川区澄池町9番3号	Tel.052(351)1551
大阪営業所	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(965)9811
高松営業所	〒760-0072	高松市花園町3丁目7番22号	Tel.087(834)3982
広島営業所	〒734-0022	広島市南区東雲2丁目15番11号	Tel.082(284)8085
九州営業所	〒816-0082	福岡市博多区麦野3丁目18番26号	Tel.092(583)1110
本社	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋1丁目4番5号	
工場	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	

お客様相談窓口



0120-475-476

受付時間：月～金 9:00～12:00 13:00～17:00